真宗佛光寺派
大阪教区・
別院だより

大悲

第12号
平成26年（2014年）
1月1日 発行



大阪別院本堂狭間（二十四孝）

「地球を大切にしなさい。それはあなたたちの親から授かったものではありません。それはあなたたちの子から預かっているものなのです」（ケニアのことわざ）

「原発即時ゼロ」を小泉元首相が提唱し出した。首相在任中の原発推進論者から大転換である。福島第一原発の放射能漏れ事故を契機とし、去年夏にフィンランドの高レベル核廃棄物最終処分場「オンカロ」を視察し、その考えは固まったようである。

このオンカロは岩盤の地下５００ｍに核のゴミを閉じ込めようとする施設である。安全管理の困難さを追ったドキュメンタリー映画がつくられ、タイトルは『十万年後の安全』である。しかし、放射能が人体に害を及ぼさなくなるには十万年を要するという。

今から十万年前はネアンデルタール人や北京原人が生きていた時代で、その頃のご先祖は現代人に何ら害を及ぼしていない。

冒頭のことわざに学びたいものである。

（長田　譲）

到彼岸（とうひがん）

～大阪別院 彼岸会法話より～

妙圓寺　葦名（あしな）　彰（あきら）

先日、伯母の三回忌法要にお参りしました。一周忌の時は新婚だった伯母の孫娘に赤ちゃんが生まれ、微笑ましい和やかな法事になりました。

おばあちゃんの声

両親がともに高校の教師だったので毎日帰りが遅く、幼少期の孫娘はほとんど祖母に育てられました。おばあちゃん子だった彼女の結婚が決まり、病床の祖母に報告に行ったとき「お父さんお母さんに挨拶して嫁にいきなさい」と、言われたそうです。しかし、自分が育てられたという事実に頭が下がらなかったり、また結婚式までの段取りをこなす忙しさのなかで、披露宴の席でも両親への感謝の言葉が素直な気持ちで言えなかったようです。

「おばあちゃんが亡くなった後も、機会を逸したためか親に感謝の気持ちが素直に言えませんでした。そのことがどこか気がかりでいたけれど、三回忌法要にわが子を抱いてお参りして今、おばあちゃんのあの『お父さんお母さんに挨拶して嫁にいきなさい』の言葉が耳に響き、両親がいてくれてこその私なのだと気づかされ、今まさに感謝の気持ちが深く感じられる」と涙ながらに話してくれました。

家族に心配をかけながらも、なにも迷惑はかけていないと突っ張ってきた。そんな自分の成長を、有難いことと心から喜んでくれた家族の思いが、おばあちゃんの声を経て今、彼女の身に響いたのでしょう。

今、遇う

先だって亡くなった大切な家族は、命を懸けて私たちにいのちの尊さを教えてくださっています。また同時に、思い込みにとらわれ苦しみ悩む私に、仏法に出遇ってくれよと願ってくださっているのです。

そのことに気づかせていただくことこそが、年忌法要が仏事として勤まる要なのでしょう。

（平成25年9月20日勤修の大阪別院彼岸会法話より）

如是我聞

生かされているいのち

滋賀南教区・阿弥陀寺　駒井道生師



平成25年10月27日、大阪別院で報恩講が厳修されました。恵照ご門主が御親教でお引きになられた「十方微塵世界の、念仏の衆生をみそなわし、摂取してすてざれば、阿弥陀となづけたてまつる」というご和讃について駒井道生師が複演でご法話くださいました。

本当の「いのち」

平成23年に厳修された宗祖親鸞聖人七五〇回大遠忌法要のスローガンで、佛光寺派、本願寺派、大谷派の三本山に共通して使われた言葉は「いのち」でした。これは親鸞聖人が大切にされた「いのち」というものがすっかり形を変えてしまった現代にあって、何とか本当の「いのち」に気づいて欲しいという言葉であったのではあるまいかとお話しくださいました。

弥陀の喚び声

そして本当の「いのち」に気づかせてくださるのが阿弥陀仏です。親鸞聖人がご和讃に「阿弥陀となづけたてまつる」とおっしゃった阿弥陀仏とは法身仏、すなわち自然の浄土から私のいのちが人間として生まれ、思うようにならぬ世界で迷っているこの私を何とか元の自然の浄土に連れて帰りたいというはたらきをもって法身仏から現れてくださったお姿であります。何とか連れて帰りたいというご苦労の喚び声が南無阿弥陀仏の六字の声となって現れたのです。六字の名号は「今生かされているという『いのち』に気づけ、感動せよ」という阿弥陀仏の喚び声なのです。

本願の仏地

親鸞聖人が南無阿弥陀仏の中に生かされていることに気づかれたことの感動を「慶ばしい哉、心を弘誓の仏地に樹て、念を難思の法海に流す」と告白されたお言葉を引かれ話されました。

私は「樹てる」というお言葉を根無し草のような私たちが本願の仏地というところにこそ樹木のようにしっかりと根を下ろすことができる、本願を遠くに仰ぐものではなく心の大地としていくといただきました。また親鸞聖人は「樹ちました」と慶びを表わされていますが、私たちはこのお言葉を「樹てよ」の喚び声と受け取るべきかと聞かせていただきました。（佐々木太一記）

大阪探検

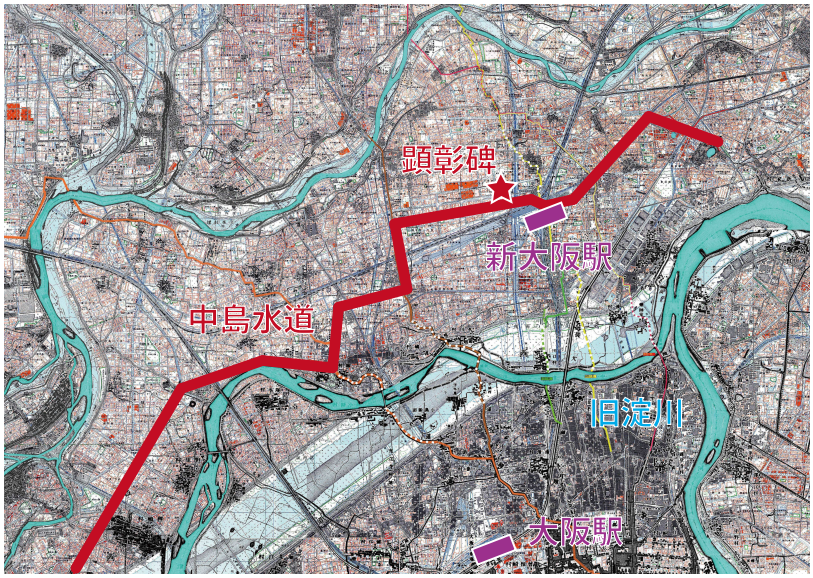
中島大水道（なかじま）



中島大水道顕彰碑

大阪は「水の都」と呼ばれています。しかし現在の大阪をみると、水の都と呼ばれるほど河川や水路があるわけでもありません。大きな河川がありそれに付随する大小の川はあるものの決して特別なものではないと私は感じていました。

しかし、70年前（戦前）まで、大阪は中心部を除いて多くの水路と大きな河川、それに稲作が盛んな地域でした。そこで今回、それを示す「中島大水道」を紹介させていただきます。この水路は大阪の中心部を流れる淀川の北部に位置する場所に約9.5㎞（東淀川区～淀川区～西淀川区）流れていました。



江戸時代、水害に悩んだ農民が、排水用の水路が必要だと考え作ったものです。当時、幕府に水路の依頼をしたところ幕府側から「全額農民負担なら」と回答がきました。それに対し農民は「幕府に半分持って欲しい」とお願いすると、「生意気な。工事をすることならん」と言われ、許可無く三人の庄屋のもと、50日で水路を完成させました（1678年）。

その後、幕府に呼び出された三人は責任を取り、役人に捕らわれる前に命を絶ちました。白装束で江戸の空をにらみつけたといわれています。その場所は新大阪駅の近くにあります。

その後、収穫が大きく増え、農業用用水路として300年近く活用されたのです。現在、中島大水道は、ほとんど埋め立てられ姿はなく、跡は道路や線路に変わっています。

（寿栄松正顕）

全国の

ごえんさんを訪ねて

光明寺（大阪）吉田　譲住職



木村光見 画

光明寺は文禄四（一五九五）年に豊臣秀吉の町づくり政策として建設された西寺町に寺基を構えました。場所柄、『曾根崎心中』に登場するお初、徳兵衛のお墓があるそうです。

生き方を学ぶ

若い頃から僧侶としての道を模索する中、大学時代には落語研究会に入部され、また落語家桂吉朝に師事され能管（横笛）なども習われます。



昨年 11 月の住職継職法要

落語に向き合う師匠の姿から、人前で話すための話芸を磨くことのみならず、好きな芸事を楽しんで継続する、そのことが職業としてではなく、見返りを期待しない生き方になっていくということを教えられます。そこに僧侶としての道に通じるものを感じられたそうです。

住職として

現在、本山の宗務部長を勤めておられますが、昨年十一月には光明寺の第十三世として住職を継職されました。空襲などで戦後郊外に移られたご門徒に再びお寺に足を向けてもらうべく、今後は落語会を開催していくなど、今まで以上に足を踏み入れていただきやすいお寺を目指されています。

また先々代の住職が熱心にされていた雅楽を引き継がれ、篳篥を専門にして大阪楽所に所属されます。最近では佛光寺派の奏楽隊を結成され、本山御正忌報恩講などでも披露されています。いずれは自坊の報恩講にも雅楽の生演奏を取り入れたいとのこと。

「自身が門徒の一人として先頭に立っておみのりを聞き、その姿を見ていただきたい。また継職したから住職であるということではなく、ここからご門徒の皆様に住職として育てていただき、住職に仕上げていただきたい」と住職としての抱負をお話しくださいました。

（門川崇志）

■光明寺（こうみょうじ）
〒530-0052
大阪市北区南扇町2-13
電話　06-6312-4982
Fax　06-6312-4982
地下鉄「扇町駅」
「南森町駅」より
徒歩約 6 分

大悲トピックス

■ホームページ開設

『大悲』を多くの方に読んでいただきたいとの思いから、ホームページを開設しました。

URLは http://daihi.org/ です。『大悲』最新号まで掲載していますので是非ともご覧ください。

なお「お問い合わせ」もできますのでご意見、ご感想をお待ちしています。



■大阪別院報恩講厳修

10月27日、大阪別院にて、ご門主さま御親修のもと報恩講が厳修されました。

当日は、お勤めに続いて、ご門主さまより御親教（おことば）があり、その後、駒井道生師より複演（法話）を賜りました。







㊤ご門主さま（右）と、御親教を拝聴する法中　㊧㊨複演（法話）をされる駒井道生師　㊦お勤めの様子

■新住職の紹介

道野真弘（第三組・超願寺）

吉田　譲（第二組・光明寺）

ご寺院、お役に立てる商品が、
きっと見つかる情報誌！
寺がある、法が活きる、寺の友社。
株式会社 寺の友社
〒611-0002 京都府宇治市木幡平尾54番地の2
TEL 0120-7676-39 FAX 0120-7676-29
http://www.teratomo.jp
ご希望の、ご寺院には、無料カタログをお送りします。

御本山 近 用達
株式会社 川勝法衣店
フリーダイヤル 0120−075−055
（〒600-8344）京都市下京区花屋町通油小路東入
電話(075)371−0367(代)
FAX(075)371−5088

御本山佛光寺御用達
井筒法衣店
社長 幾田 潤
〒600-8503
京都市下京区堀川通新花屋町角（西本願寺前）
フリーダイヤルTEL 0120-075-720番
フリーダイヤルFAX 0120-075-490番

（株）小林造園
代表取締役：小林正典
〒603-8442
京都市北区西野山東町 36-1
tel 075-491-4256
fax 075-491-9432

燦ホールディングス グループ
まごころ葬儀を創造する。
公益社
公益社 ご葬儀相談センター（24時間・365日受付、通話料無料・携帯電話OK.）
0120-567-701
※2012年5月現在 2-0131

燦ホールディングス グループ
なごみ庵
き・た・は・ま
KITAHAMA
法要料理 希望の場所までお届けします。
■四條畷店 ☎0743-78-7521
■瓜 破 店 ☎06-6769-0140
■伊 丹 店 ☎072-773-7531
※2012年5月現在 2-0132

正しい値段　正しい奉仕
佛壇・佛具
又重屋
南海高野線堺東銀座街
〒590-0077　堺市堺区中瓦町1-3-9
電話　072-232-0067・1565
FAX　072-232-6339

慶事・仏事・各種会合などの際は
和光菴のお料理を御利用下さい。
0120−11−5680
仕出しは年中無休　※年末年始除く
株式会社 和光菴
〒543-0073
大阪市天王寺区生玉寺町3-32
http://www.wakouan.co.jp
京懐石 和光菴

株式会社 モントトラベル
〒550-0013
大阪市西区新町1-8-1 行成ビル
TEL. 06-6531-1344
FAX. 06-6531-1346
http://www.monto.co.jp
仏跡参拝ならお任せください！

だいひ 絵日記

10 月 19 日（土）佛青懇和会大阪別院仏具おみがき ①

10 月 23 日（水）大悲の会編集会議（第 12 号読み合わせ）②

10 月 27 日（日）大阪別院報恩講（複演：駒井道生 師）

11 月 19 日（火）大悲の会編集会議（第 12 号読み合わせ）（西光寺にて）

12 月 6 日（金）さつき会研修会（古布で作る干支・講師：しみず ちか 氏）③

12 月 14 日（土）佛青懇和会研修会（雅楽講習会）

12 月 25 日（水）大悲の会編集会議（第 12 号発送作業・第 13 号内容検討）







社会福祉法人 至心会

淡路介護老人福祉施設ビハーラ
（特別養護老人ホーム・ショートステイ）
東淀川区淡路 5-11-17
電話：06(6370)5501

東淀川区中部地域包括支援センター びはーら
（地域包括支援センター）
電話：06(6325)6915

ビハーラこのみ園
（デイサービス・訪問介護・居宅介護支援）
東淀川区菅原 7-15-14
電話：06(6325)6911

私たちが求めるもの。
それは、支え合う人間関係です。

三軌工業株式会社
SANKI KOGYO CO.,LTD. 近畿運輸局指定整備工場
三軌工業株式会社 自動車事業部
tel. 0749-52-1407
〒521-0091 滋賀県米原市岩脇 497-1
本社 軌道業（新幹線、線路保守）
tel. 0749-52-4370
〒521-0091 滋賀県米原市岩脇 483

表具 八木米寿堂
御本尊掛軸修理 絵画、書の表装
〒600-8073
京都市下京区柳馬場通仏光寺上る
tel 075-351-2853 fax 075-352-3258

霊園・墓石のことならおまかせください
株式会社 中山石渠
0120-10-2951
• 大阪本社 電話（06）6862-0074
大阪府豊中市利倉１丁目９番１号
• 東京本社 電話（03）3364-3555
東京都中野区中央２丁目 22 番 13 号（フジビル1 3F）
http://www.nakayamasekiryo.co.jp

高 洗朱佳衣加
〒600-8150
京都市下京区東洞院通
上珠数屋町下ル
TEL. 075-371-2852
FAX. 075-371-2857

協賛
法友会
さつき会
佛青懇和会

夕に感謝 朝に礼拝 SINCE 1830
伝統工芸 京仏壇・京仏具
(株)若林
www.wakabayashi.co.jp
京都市下京区七条通新町東入
☎（075）371-3131（代）年中無休
E-mail info@wakabayashi.co.jp
フリーダイヤル 0120-37-8585（各店共通）
東京店・築地店・札幌店・仙台店・近江草津店・福岡・新潟

お墓なんでも相談センター
永遠の想いを像に還るお手伝い
ヨシザワ
株式会社吉澤石材工業所
フリーダイヤル 0120-49-1482

大阪教区・別院 行事予定

大阪教区

1月10日（金）午後6時半
新年互礼会（場所：千日前・和心）

大阪別院（どなた様でもお参りいただけます）

1月2日（木）正午　修正会
3月18日（火）午後2時　彼岸会
法話：藤野良昭 師（光津寺）
3月21日（金・祝）午後2時　彼岸会
法話：葦名　彰 師（妙圓寺）
3月24日（月）午後2時　彼岸会
法話：寺田宗隆 師（報恩寺）

法友会（住職会）

2月7日（金）午後7時　研修会
講題：宗教法人の税制について
講師：脇阪義幸 師（霊松寺）

さつき会（坊守会）

1月20日（月）午後2時　研修会
講題：恵信尼様のお手紙
講師：門川崇志 師（浄方寺）

佛青懇和会（青年会）

1月25日（土）午後6時　雅楽研修会
2月22日（土）午後6時　雅楽研修会
3月29日（土）午後6時　雅楽研修会

大悲の会（『大悲』編集会議）

1月21日（火）午後6時　編集会議
2月20日（木）午後6時　編集会議
3月25日（火）午後6時　編集会議

※場所明記のない行事は大阪別院で開催

編 集 後 記

★念願の大悲ホームページを開設しました（6頁「大悲トピックス」参照）。ホームページ作成ソフトを使い、約1ヶ月かけて作成しました。『大悲』発行ごとの更新を予定しています。お気づきの点がございましたらお知らせください。★季刊誌『大悲』の編集会議は毎月1回、つまり1号発行につき3回開催されています。1回目、2回目は原稿の読み合わせ、3回目は発送作業と次号の内容検討です。毎回、じっくりと議論を重ねたあとは、食事と追加の議論をかねて近所の居酒屋へ。親睦も深まりますが、酔いが回るにつれて議論もどこへやら･･･？★そんなこんなで、編集者一同、毎月がんばっています。（隅谷俊紀）

大阪教区・別院だより『大悲』　第12号
平成26年(2014年)1月1日発行　(発行部数2000部)
発行：大悲の会
事務所：佛光寺大阪別院内
〒558-0011　大阪市住吉区苅田6-11-24　電話06-6691-1362
郵便振替口座：口座番号「00990-4-305218」加入者名「大悲の会」
大悲ホームページ　http://daihi.org/

大悲の会
長田　譲(会長)　　佐々木太一
隅谷俊紀(副会長)　　葦名　彰
寿栄松正顕(会計)
玉出宗順(会計)
門川崇志(監事)